

看護連盟 いばらき

第 58 号

2023 年 9 月 15 日号

茨城県看護連盟
水戸市緑町 3-5-35
TEL 029(225)3992
発行者 会長 山本かほる
info@ibaraki-kangorenmei.jp

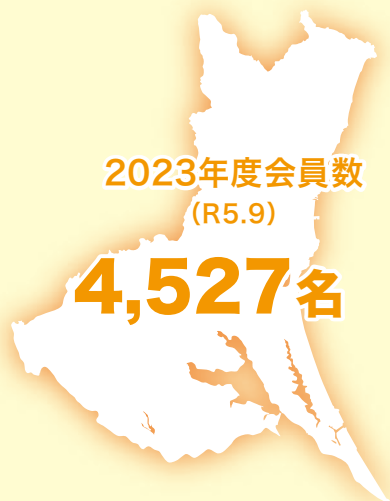


目次

会長あいさつ	2
看護職議員活動報告	3
2023年度 日本看護連盟通常総会報告 2023年度 茨城県看護連盟通常総会報告	4
2023年度 スローガン「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」 特別講演「看護政策実現に向けて」 おめでとうございます（日本看護連盟名誉会員）	5
退任役員・新任役員	6
研修会参加者の声・会議報告	7
施設紹介・わたしの休日	8
議員あいさつ	9
編集後記	10

2023年度会員数
(R5.9)

4,527名



茨城県看護連盟会長あいさつ



**2023年度日本看護連盟通常総会において
石田まさひろ議員が次期参議院選挙の組織内候補に決定しました!!**

茨城県看護連盟 会長 山本 かほる

地球温暖化の影響により、今年の夏は台風による大雨など全国各地に被害がもたらせられました。会員の皆様におきましては体調や被害は大丈夫でしたでしょうか。

2023年度の本会の通常総会も、会員の皆様の協力によりまして4年振りに1日の開催をすることができましたことに対し厚くお礼申し上げます。

今年度の重点課題は、会員拡大です。本会においては2021年度より5千名を割り2023年度7月末現在では約4,500名に落ち込み500名以上の減少となり、看護協会比率も30%を割る状況に陥っております。この状況を改善させるために支部活動の強化を図り、非会員に対しての対策を計画するなど役員、支部長と一丸となって活動しております。今後、未入会施設への訪問を通して連盟の意義を強く伝えていきたいと考えています。また、県看護協会とも連携を密にして会員確保対策に力を入れてまいります。

9月26日には、いばらき自民党議員団（会長 海野透先生）による、いばらき自民党看護政策懇話会の初会合が予定されています。茨城県の看護をより良いものとするため県看護協会と共に出席して看護の現状と課題について意見交換したいと思います。

日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟 会長 高原 静子

皆様には平素より日本看護連盟事業にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが「5類」に引き下げられ、患者数は緩やかに増加している状況です。今なおコロナ禍にあり、最前線に対応して頂いている看護職の皆様に改めて感謝と敬意を表します。

この度、2023年度日本看護連盟総会で次期参議院の組織内候補者予定者に「石田まさひろ参議院議員」が決定しました。看護職域代表の議員として2022年来の看護職の「補助金事業」「看護職員処遇改善評価料」の創設、「国家公務員医療職俸給表（三）」の改正と看護職のために尽力していただきました。皆で応援しましょう。

骨太の方針 2023年や規制改革法案では、「患者中心のケア提供の強化」、「多職種と連携・協力」、「専門知識とスキルを向上」による総合的なケアの質の向上やより高度なケア提供が求められています。

看護職が経験や意見を発信し、政策提言や改善案の提案に参画することが重要です。看護職議員はもとより看護を支援して下さる各級議員、日本看護協会・都道府県看護協会と一丸となり、政策実現に向け進んでまいりましょう。

茨城県看護協会会長あいさつ



公益社団法人茨城県看護協会 会長 白川 洋子

9月に入り、秋の足音が聴こえる頃となりました。連盟の皆様におかれましてはお元気にご活躍のことと存じます。私たちは感染症と程よい距離をとりながら日常生活を営むことが出来るようになりましたが、日々の臨床においては、後遺症に苦しんでおられる方もいらっしゃる、お見舞い申し上げます。

さて、看護協会は「災害支援ナース」の育成、派遣を行ってまいりましたが、令和6年度以降は、災害支援ナース（災害・新興感染症対応）を改正医療法で「災害・感染症医療業務従事者」として位置づけられることになりました。これは応援派遣に係る実費を公的に負担し「医療機関における業務」として位置づけ、安定的に安心して実施できる環境へと発展させることであります。この度の「改正医療法」は県民の安全・安心につながります。

今後も県民の安心・安全な暮らしと、看護職がいきいきと看護に取り組むことができる環境づくりに、看護連盟とともに看護職の力を結集させていただきます。



看護職議員活動報告



少子化社会におけるこれからの看護

衆議院議員 あべ 俊子

いつもご支援いただきましてありがとうございます。今後、人口減少が進む中、人材を確保することはもちろんのこと、効率と生産性を重視した働き方への支援が必要です。限られた時間、労働力の中で、質が高く効率のよい看護を提供するにはどうしたらよいか、と常に考えています。

昨今、生成系AIの技術革新が目まぐるしく進んでいます。信頼性や倫理的な課題を含みながらも、有益なツールとして様々な業種で導入されています。現在、AI活用のメリット・デメリットを理解した上で、看護の現場にどのように活用できるのかを模索しています。記録や書類作成の自動化ができれば、患者さんと直接対話したり、ケアを提供する時間を増やすことができるかもしれません。生成系AIの活用は、看護師の仕事をもっと鮮明にするのではないかと考えています。

看護を『選ばれる職業』にしたい。看護師の新しい働き方を、皆さまと一緒に創り上げて参ります。



衆議院議員 たかがい 恵美子

茨城県看護連盟の皆様におかれましては、平素変わらず後進の育成や看護政策の推進にご尽力を賜り誠にありがとうございます。たかがい恵美子も皆様の温かい励ましの下、衆議院では厚生労働委員会、東日本大震災復興特別委員会に籍を頂戴しております。また党政調では引き続き、性的マイノリティ特命委員会の委員長、女性の生涯の健康プロジェクトチームの座長を務め、先の国会では理解増進法を成立させていただきました。

来年度から始まる第三次健康日本21では、女性の生涯の健康が戦略の新たな柱となり、女性活躍・男女共同参画の重点方針2023等には、女性が尊厳と誇りをもって生きられる社会の実現に向け、生涯に渡る健康支援が頂立てされています。

年末には診療報酬と介護報酬の同時改定作業が本格化しますので、技術に見合う報酬評価とライフコースに沿った働き方改革のため、一層気を引き締めて精進して参ります。



参議院議員 石田 まさひろ

茨城県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

社会全体で賃上げが進む中、看護職も一層の処遇改善を進めねばなりません。今こそ、賃上げに必要な医療機関等の収入を増やすために、診療報酬の基本的点数である入院基本料や訪問看護基本療養費等を大幅に引き上げる必要があります。現在、診療報酬の大幅な引き上げと、全ての看護職員の賃金引き上げを可能とするための財政措置を明示することを政府に求めています。

6月13日に開催されました、日本看護連盟通常総会において、次期参議院議員選挙の組織内候補予定者としてご承認をいただきました。初当選以降、組織代表の看護職議員として、看護協会が提言する看護政策実現のため力を尽くして参りました。これからも現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動していきます。引き続きよろしくお願い申し上げます。



取材対応の様子



茨城県看護連盟の皆さまへ

参議院議員 とものもう りお

平素よりお世話になっております。参議院議員として、1年が経過しました。年始から始まった第211回通常国会も閉会し、少しほっとしています。開会中は、参議院の委員会、党の会議など様々な場で、看護職の処遇改善、専門性の発揮、訪問看護への支援などについて訴えて参りました。「訪問看護の推進」については、来年度予算編成や重要課題への方向性を示す骨太の方針2023に記載がされ、今後の展開が期待されます。

閉会中も参議院の閉会中審査や自民党の会議がありますので、医療・看護に係わるものを中心に出席し意見を述べるとともに、これまで皆さまからうかがった様々な課題の解決に向けて厚生労働省との協議を行っています。

現場の声を国政に!立法府である国会の一員という自覚を持ち、皆さまがより良い看護を提供できる環境を整えることができるように引き続き取り組んで参ります。

今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



通常国会 閉会日 本会議



質問時の写真



加藤厚生労働大臣への申し入れ



2023年度 日本看護連盟通常総会報告

日時：2023年6月13日(火)13:00～15:00

場所：ザ・プリンスパークタワー東京



鹿嶋第2支部長 今野 恵

令和5年6月13日(火)、ザ・プリンス・パークタワー東京で2023年度日本看護連盟 通常総会が開催されました。コロナ禍にて人数制限をしておいた開催でしたが、3年ぶりに代議員533名に加えて看護連盟役員・会長など579名が参加しました。

日本看護連盟新会長の高原静子様より、新型コロナウイルス感染症が5類感へ移行したが、収束したわけではなく、ウイルスの感染力が低下したということでもない。このような状況下で、医療や介護、地域の様々な場所で新型コロナウイルス感染症と戦っている会員の皆様に心から感謝と敬意を表しますとお言葉を頂きました。

審議事項として、第1号議案から第5号議案(1. 2023年度スローガン(案)、2. 2023年度活動計画(案)、3. 2023年度収支予算(案)、4. 第4号議案役員選出、5. 第5号議案2024年度日本看護連盟通常総会代議員選出について)の報告があり可決されました。

第27回参議院選挙候補予定者に、石田まさひろ参議院議員が賛成356票、反対0賛成多数で決定しました。石田まさひろ議員より、コロナ禍においての経験から強い思いを込めてご挨拶がありました。看護連盟会員の意識調査の結果、連盟会員の看護職国会議員に対する知名度は選挙終了後、時間と共に低下していくことが明らかになっています。日頃から看護職国会議員が会員の「現場の声」を活かし、看護制度改革に向けての政治活動と政策提言及び政策実現への取り組みなどを情報発信して周知することで、次期選挙への得票に繋がると言えます。看護の現場の声こそが看護の向上と国民の健康に大きく寄与するため、看護を理解する国会議員の確保と支援ができるよう、尽力していきたいと思います。



2023年度 茨城県看護連盟通常総会報告

日時：2023年6月27日(火)10:00～14:45

場所：ホテルレイクビュー水戸



第2副会長 秋葉 はついで

去る6月27日にホテルレイクビュー水戸に於いて、2023年度茨城県看護連盟通常総会が開催されました。開会式では、物故会員への黙祷ささげ、大井川和彦知事はじめ、白川洋子看護協会会長様、参議院議員、衆議院議員、県会議員、市議会議員の先生方、女性局、また多くの支援団体の皆さまの出席を賜りました。

大井川知事、白川会長、衆議院議員葉梨先生、参議院議員加藤先生、茨城県議会議員海野先生よりお祝いと激励のご挨拶をいただきました。祝電のご紹介も数多くございました。

その後、出席者87名、役員28名、委任状3718名 総数3833名により総会成立し、議長団2名(東京医科大学茨城医療センター菅原多栄子様、城西病院青木由美様)の方により議事が進行されました。

報告事項7項目については2022年度決算報告に関する内容について会場より質問いただき、再度見直し、監査承認を得て会員の皆様に改めて報告することとなりました。そのほかについては承認いただきました。

審議事項については、第1号議案2023年度スローガン(案)、第2号議案2023年度活動計画(案)、第3号議案2023年度収支予算(案)、第4号議案役員選出、第5号議案2024年度日本看護連盟通常総会代議員選出について、すべて承認されました。

議長解任後、退任役員(4名の支部長)、総会において承認されました新任役員(第1副会長、監事1名、幹事1名、支部長4名)の紹介とあいさつがあり、今年度日本看護連盟名誉会員になられました高野洋子顧問のご挨拶もいただきました。

数年にわたるコロナ禍において通常総会が縮小または開催できない時期もございましたが、今年度は多くの会員のみなさまにご出席いただき、茨城県看護連盟の活動等が報告できたことは、誠に感慨深いものでありました。今後ともご指導、ご協力賜りますようお願い致します。



2023年度 スローガン「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」



休憩時間のオカリナ演奏 癒されました

2023年度
茨城県看護連盟通常総会

特別講演「看護政策実現に向けて」

秋山 智弥 先生



水戸赤十字病院 重藤 みどり

興味深く拝聴させていただいたのは、「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト / シェアの推進」である。医師に代わり特定行為を行える看護師の育成や、看護師が行っていた採血業務を、臨床検査技師が可能になるなど政策が改定されてきた。看護師のその他の業務では、看護補助者へのタスク・シフト / シェアについて、委譲可能な業務を理解し、看護師の責任で行っていかねばならないことを改めて振り返ることができた。また、「プロトコルを用いた包括的指示」について、患者の症状を観察している看護師が判断して、苦痛の緩和や安全を提供していくことは、患者に迅速な医療の提供ができること、また、業務改善にもつながると感じた。



おめでとうございます!

看護連盟活動に顕著な功績のあった会員より選ばれた日本看護連盟の名誉会員となりました。



高野 洋子

この度、茨城県看護連盟 山本会長の推薦を受け、2023 年日本看護連盟通常総会において名誉会員証を頂きました。ありがとうございました。

私は、看護学校卒業後、就職と同時に看護協会、看護連盟に入会しました。

私が、看護師として働き始めてから国政に代表をすることによって、看護職の働く環境が良くなりました。看護師国家試験合格発表6月から3月（H9）になりました。私達は6月発表でしたので、6月までは看護助手で働いていました。

参議院議員 清水嘉与子先生が提案された「婦・士」から「師」への名称変更では、茨城県においては三師会（医師、歯科医師、薬剤師）から看護職が加わり四師会で医療の問題のテーブルに加わりました。

看護職は職業意識が高いです。でも自分達だけでは職場の環境は変わりません。沢山ある職業の中で看護職を私達は選びました。よい看護をするために未来の看護職のために、1 人でも多くの人に看護連盟を賛同して頂き、看護連盟がこれからもより発展することをお祈り申し上げます。



退任役員 ～ありがとうございました～



水戸第2支部長 木島 照美

茨城県看護連盟水戸第2支部長として、約6年間活動してまいりましたが、今年度の総会をもちまして、無事退任を迎えることができました。連盟活動については、当初戸惑いと不安でいっぱいでした。しかし、山本会長をはじめ、諸先輩役員の方々のご指導と、支部の皆様や職場の仲間の支えがあり活動できました。

また、仲間たちとの出会いや連盟活動を通し、看護と政治の大切さも学べたことは、私の大切な宝物になりました。これからは一会員として、茨城県看護連盟の益々の発展とご活躍を応援していきたいと思います。大変お世話になりました。



結城支部長 山中 久美子

支部長として活動させて頂く中で、看護の代表を国政に送る事の重要性や、人と人との繋がり大切さなど多くの事を学ぶ事ができました。

この3年間、病院業務と連盟活動の両立で心が折れそうになった事もありましたが、会長をはじめ役員の方々・支部会員の方々に支えて頂き、任期を終える事ができました。大変な事もありましたが、楽しかった事も沢山あり、良い思い出になっています。

これからは、一会員として看護連盟の活動を応援させて頂きたいと思います。ありがとうございました。



県北第2支部長 三浦 由貴子

関係者の皆様に支えられて無事に支部長を務めさせていただき感謝いたします。

コロナ禍での連盟活動は従来に増して他施設との連携がとりにくい状況でしたが、研修等のWEB方式は当院のような遠方からの出席者にとっては、コスト・時間ともにパフォーマンスがよいことが分かりました。今後も集合研修と併用した計画をお願いします。

参議院選挙では、新人の友納理緒さんが当選。診療報酬上では看護職員の処遇改善があり、今後の動向に期待し、会員として協力させていただきます。

新任役員 ～よろしく願います～

第1副会長

日立製作所日立総合病院 芳賀 百合子



看護連盟会員および看護職の皆さまのご活躍に深く感謝申し上げます。

この度、茨城県看護連盟第一副会長を拝命いたしました。看護連盟が自律した柔軟な組織として看護協会と協働による看護政策を展開し、看護職のミッション・ビジョンの達成と成果の可視化をめざしたいと考えております。

皆さまとの情報共有およびご指導をいただき活動して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

監事

吉田 寿和



今年度までの9年間、茨城県看護連盟の第一副会長を務めさせていただきました。新たに新任の監事として看護連盟役員となりました。初めての役であり活動でありますので不安もありますが、役員の皆様にご指導をいただきながら、精一杯活動してまいりたいと思っております。各施設や県内18支部の活動を知るとともに、他の施設や地域の情報共有や連携を図っていききたいと思います。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

水戸第2支部長

中島 道子



令和5年度より、水戸第2支部長を務めさせていただくことになりました。新型コロナウイルス感染症の猛威により、看護連盟の活動に制限がある中、医療現場の現状と要望が届けられ看護士の処遇改善を受けることができました。現場の声を届け政治を動かしていくには、看護職の代表を国政に送ることが重要になります。看護専門職としての役割を発揮するための職場環境が整えられるよう、連盟会員と共に活発な活動ができるように努めていきたいと思っております。

県西支部長

協和中央病院 高野 直江



この度、長年にわたりご活躍いただいた上野支部長の後を継ぎ、県西支部長を務めることになりました。新型コロナウイルスは看護師に大きな試練を与え、体力的にも精神的にも苦しく、最前線で使命感、責任感を持って奮闘してきた「現場の声」を看護連盟に届けられるよう地区の意思疎通を図り、組織力・発信力の強化を目指して活動していきたいと思っております。今後の活動にあたり、皆様からのご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

結城支部長

渡邊 コリエ



このたび、結城支部長を務めることになりました。看護職が少しでも働きやすい職場環境を目指し、現場の生の声を1つでも多く届けていけるよう努めていきます。今、看護師として働いている私達、またこれから看護師を目指す若い世代が長く看護師を続けられるようにする為にも、看護師の代表を国会に送ることの重要性や看護連盟の役割を多くの方に知って頂き、協力が得られるよう活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

県北第2支部長

ひたち医療センター 須藤 礼子



この度、県北第2支部長を拝命いたしました須藤です。連盟活動は看護政策実現のために国政に代表を送ることを目的としています。政治に関わりを持つことは難しく大変と感じ人が多くいると思います。しかし、看護職の待遇改善、働きやすい環境を目指すために連盟活動が必要です。皆様に理解していただけるように努力したいと思います。そのためには会員数を増やすこと、現場の声を地方議員、国會議員に届ける機会を作ることを目指したいと考えています。皆様のご指導をいただき活動して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



2023年度 研修会参加者の声

「新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題」

日時：2023年5月25日(木) 17:00～19:00
オンライン



坂本 史衣先生の講演を受講して

大洗海岸病院 藤枝 しず子

5月8日よりコロナウイルスは5類感染症に移行し、行動制限がなくなり、マスク着用も自由になった。しかし、当院の受診状況を見ると、感染者数は増加傾向にある。感染経路としては、吸入(エアロゾル感染)と飛沫と接触感染である。私たちに出来ることは、基本的な感染対策として、標準予防策の徹底である。まず、手指衛生のタイミングと消毒の手順の大切さ、個人防護具の選択、空気がよどむ場所を作らないために換気の必要性があり、空気清浄機の使用・換気・サーキュレーターや扇風機を活用する事が必要とされる。症状のある患者には、感染を早期に発見する為に、積極的に検査を行う。感染可能期間は隔離・個人防護具の適正使用・手指衛生を行い、接触回数、接触時間は不利益が生じない程度に最小限にする。また重症化を防ぐためのワクチン接種の必要性や期待される効果等を再確認できた。

家族の面会など精神面での看護も考慮していかなければならないが、感染状況を見ると消極的になってしまうのが現状である。5類に移行しても、感染力の変わらないウイルスに対して、医療従事者の行動は変わることは無い、正しい情報・知識・技術今回の研修を活かして、病院全体で取り組んでいきたい。

「看護の未来」～自律した専門職として成長する～

日時：2023年7月22日(土) 13:30～16:00
場所：ホテルテラスザガーデン水戸



『「看護の未来」～自律した専門職として成長する～』を聴講して

茨城西南医療センター病院
看護副部長 飯田 有美

「坂本先生の講演を聴くと元気になって、明日からまた管理職を頑張れる希望をもらえるよ」という上司の励みもあり、今回初めて坂本先生の講演を聴講させていただきました。新型コロナウイルス感染症が終息していない今、私たちが看護職がどこに向かっていくのか、看護のたどってきた歴史を振り返りながら講演してくださいました。何事も原点に戻る重要さを思い出すことができました。自分の原点に立ち戻り私はここからどこへ行くのか、何をしたいのか自己との対話をしながら、看護管理者としてスタッフと共にこれからの危機や問題を乗り越えていきたいと思いました。講演の中で「あなたのかばんは何ですか」の先生の問いかけにハッとしました。私のかばんは今現在、日々奮闘している医療安全管理者ですと胸を張って言えるように頑張っていきたいです。たくさんの方の勇気と気づきを頂けた講演でした。ありがとうございました。



2023年度 会議報告

全国青年部代表者ミーティング

日時：2023年6月12日(月) 14:00～17:00



青年部委員長 武子 裕介

2023年6月12日(月)に日本看護連盟青年部活性化委員会主催による2023年度全国青年部代表者ミーティングがザ・プリンスパークタワー東京で開催された。

今回のミーティングは初めての試みで、集合と聴講(オンライン含む)のハイブリット方式で約114名が参加した。関東甲信越ブロックは、事前に会場設営や打ち合わせ等を行った。

日本看護連盟会長の挨拶から始まり、公務の間の少ない時間ではあったが、石田参議院議員や友納参議院議員も駆けつけて下さり、現在の公務や現状について挨拶があった。

続いて会場の聴講も参加し、11グループでグループワークを行った。4つのテーマを各グループで分け、ワールドカフェ方式で話し合い、まとめて発表した。他県の方もSNS戦略に悩んでいた、考えている事等共通点が多いと改めて思った。

最後に小泉進次郎衆議院議員が講演をして下さり、SLIDOを活用した質疑応答が行われた。小泉議員は看護連盟に深く共感されており、現場の声を看護連盟に送り、看護連盟でも解決困難な事象は国会に届け、議論・改善しなくてはならないと発言があった。

今回の経験を茨城看護連盟青年部でも共有し、今後に活かしたいと思う。



県別会議

日時：2023年7月28日(金) 13:30～15:30 場所：ホテルテラスザガーデン



鹿島第1支部長 岩間 由起子

7月に看護連盟県別会議が開催されました。

2020年からのコロナ禍により医療の現場に大きく混乱が生じる中、石田まさひろ参議院議員、たかがい恵美子衆議院議員、あべ俊子衆議院議員、とものお参議院議員の活躍が紹介され、看護職の処遇改善、医療従事者に対する風評被害の撲滅、PPEを現場に送るシステムの構築など、政策推進を図られ、国政に現場の声を届けられました。

日本看護連盟の役割は「看護職の代表を国政に送る」ことです。この結果は、今までの看護連盟の活動が大きく実を結んだたまものと言えます。今後も多くの現場の声を届けるためには、会員を増やすことが必須です。

この会議に、日本看護連盟から、柳谷博幸常任幹事 福田淑江常任幹事を迎え、活発な意見交換をしました。「連盟の役割をどのように周知するか」「会員数を増やすのにはどうすればよいか」など、様々な意見を今後の活動に活かしたいと思える有意義な時間となりました。



施設紹介

常陸大宮済生会病院



看護部長 鈴木 美恵子

当院は、久慈川と那珂川の二つの清流に囲まれた、茨城県北西部に位置する緑豊かな常陸大宮市にあります。県内で唯一、中核的病院のなかった県北西部地域でしたが、多くの住民に待ち望まれ、二次救急医療、へき地医療を担う病院として平成18年に開院しました。

済生会は、明治天皇が「生活苦で医療を受けることができずに困っている人々を施薬救療（無償で治療すること）によって救おう」と明治44年に創設し、現在では40都道府県に82病院設置され、当院は済生会病院として全国で80番目、県内では5番目に誕生しました。

入院患者は高齢者が多くを占め、約7割は緊急入院であり、救急や入院を断らない病院を目指しています。また、近隣には小児が入院できる施設がないため、小児が安心して通院・入院できるように小児医療にも力を入れています。近隣の小児科が休診の日は21時30分まで小児科の医師が待機し受け入れをしています。

地域の方を大切にし、信頼され愛される病院、看護部となるように努めてまいります。



総合守谷第一病院



看護部長 宮本 俊子

当院は、県南地区に位置し「患者様に安心していただくことが私たちの使命です」の病院理念の基に、救急医療・周産期医療・在宅医療と幅広い役割を担い、一般病棟および地域包括ケア病棟を併せもつ199床の総合病院です。

患者様に安心していただける医療・看護の提供を行っており、人にも環境にも優しい病院・思いやりがあり働き続けられる病院、患者・家族・地域住民に寄り添い、地域との連携を図りながら、その人らしく安心して住み慣れた環境で生活できるような看護支援を目指しています。

当院は子育てをしながら働き続けられるよう24時間体制の保育園を保有し、ワークライフバランスを考慮した様々な働き方を取り入れています。お互いの思いや考えを伝えあいながらコミュニケーションを図り、看護職員一人一人が看護観や働くことの意義を持ち役割を発揮することで、生き生きと働き続けられるよう取り組んでいます。



わたしの休日

協和中央病院

夢中になれるもの

千種 重智

私の休日は普段できない家事や買い物が主となりますが、そんな合間に昔から続く趣味があります。それは、アニメ「機動戦士ガンダム」に登場するロボットのプラモデル、通称「ガンブラ」の製作です。パーツが少ないキットから、細かく多いキット、古いキットや最新のキットなど種類も多数あります。楽しみ方はそのまま組んだり塗装や模様を追加したりと気分に合わせて楽しんでいます。私が特に夢中になる作業は、やすり掛けです。一つ一つのパーツを整えて組立てる時の達成感、日々の疲れを吹き飛ばしてくれます。今後も趣味を大事にし、仕事と両立させ充実した日常を送りたいと思っています。



いちほら病院

看護師 保原 りか



私は、現在3人の子育て中です。休日はタクシー運転手のような感じです。ほぼ長男のサッカー送迎が多いです。サッカー始めて10年となり、長男のサッカー熱にはとてもパワーをもらってます。妹達も一緒に移動が多いため、遠出の試合会場の送迎時には、その土地の美味しいお店を探したり、近くの公園でボーッと過ごしたりしています。今後は妹達の部活も被り忙しくなりそうです。3人の予定がスムーズに終了した夜は、ひとりゆっくりとお酒を飲み、心と身体のパワーチャージをしています。これからも元気に頑張りたいです。





議員あいさつ



いばらき自民党看護政策懇話会を設立しました

茨城県議会議員・いばらき自民党看護政策懇話会幹事長 常井 洋治

茨城県看護連盟の皆様におかれましては、日頃の業務を通して県民の健康と福祉の増進にご尽力をいただいておりますことに深く敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

この度、いばらき自民党看護政策懇話会(会長 海野 透氏)を3月24日に設置しました。設置するにあたりこの3年余り県民の命を守るために新型コロナウイルス感染症との闘いに最前線で活躍していただいた看護職の皆様には、改めて感謝申し上げます。

人口減少社会の到来により少子高齢化社会を迎える中で、医療介護の重要性は益々高まり看護職への期待は増えるばかりです。その一方で、看護職員数や仕事内容と処遇の乖離が大きく看護に関する課題が多いことを伺っております。

いばらき自民党議員団は、これまで茨城県看護連盟とは各級選挙等を通して信頼関係を構築し連携推進を図ってまいりました。

今後、看護政策懇話会を通して、看護職の皆様がより良い環境整備の下、医療看護サービスが提供できることを目指し支援協力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



参議院議員 加藤 明良

茨城県看護連盟の皆様におかれまして、昨年7月の参議院議員選挙で力強くご支援をいただき、おかげさまで初めて参議院議員に当選することが出来ましたことに改めて感謝申し上げます。これからも郷土の発展のために誠心誠意取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。また、長引くコロナ禍において、県民の命と健康を守る最前線で活躍いただいております看護職の皆様に心から敬意を表し感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、国民生活も日常に戻つつありますが、医療現場では変わらぬ感染症予防体制や人員不足などの厳しい状況であり、私たち医療関係者の皆様の環境がより良いものとなりますようさらに全力で努力してまいります。

看護連盟の皆様とのネットワークと絆の強さが、より良い国づくり、地域づくりの政策に繋がるものと信じております。これからも看護連盟の益々の発展と会員の皆様のご活躍を祈念致します。



水戸市議会議員 後藤 みち子

茨城県看護連盟山本かほる会長をはじめ役員の方々と、会員の皆さま方に助けていただき、統一地方選挙において2期目の当選を果たすことができました。感謝申し上げます。

台風19号が発生し災害に看護職が果たす役割の重要性が認識され、茨城県看護協会と水戸市が災害時協定を締結いたしました。私は、この協定締結に携わることができ看護職員として光栄に思っております。

コロナウイルス感染症が蔓延し様々な事がありました。看護職員の子どもたちが保育園に通えなくなった時、必死で訴えました。特に力を入れて取り組んだことは、女性特有のがん検診受診率の向上です。コロナ禍健康診断の受診控えが生じその翌年にはがんの早期発見者数が減少いたしました。女性特有のがんは仕事と子育てに追われ自分のことを後回しにしてしまう時期に好発します。このままでは女性が生活しやすい社会にはならないのではないかと考え議会で何度も質問をし今年度から子宮頸がん検診の無料クーポン券を水戸市独自で発行するにいたしました。これからも政治として捉え看護の目でみて汗を流してまいりまいる所存ですのでご指導よろしくお願い申し上げます。



永岡桂子文部科学大臣との懇談

常任幹事 薄井 成美

7月6日、永岡桂子文部科学大臣が政務ご多忙の中、県看護研修センターに来訪されました。茨城県看護連盟5名、茨城県看護協会6名、茨城県理学療法士会2名、茨城県理学療法士連盟1名、茨城県言語聴覚士会1名、NPO法人ひと・まちなつとわーく1名の計16名参加して意見交換会を行いました。

永岡桂子文部科学大臣の活動報告としてG7教育相会合への参加、教員の働き方改革、処遇問題、子育て支援等の取り組みなど永岡大臣と直接、お会いして話を聞くことで、色々な情報を知る良い機会になりました。



研 修 会 案 内

2023年度第2回茨城県看護連盟会員研修会

日 時：10月7日（土）10:00～12:30
 会 場：ホテルレイクビュー水戸
 開催方法：集合研修
 「裁判例から学ぶ看護職の法的責務と看護記録」
 講 師：参議院議員 友納理緒先生

2023年度茨城県看護連盟ポリナビワークショップ

日 時：10月7日（土）13:30～16:00
 会 場：ホテルレイクビュー水戸
 開催方法：集合研修
 「看護の未来を考える」～政治と看護とは～
 講 師：参議院議員 友納理緒先生

* 多くの方のご参加をお待ちしております。

2023年度 茨城県看護連盟会員 入会受付中

日本看護連盟公認キャラクター

みんな集まれ！楽しいよ！！



レンコ

カンタ

正会員 年会費 7,000 円（日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円）
 ・看護協会会員であること。

特別会員 年会費 7,000 円（日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円）
 ・正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方。

賛助会員 年会費 1,000 円
 ・看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できます。

学生会員 年会費 無料
 ・看護学生で、看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方。

皆さまのご入会を
 お待ちしております。

お問合せ 茨城県看護連盟ホームページもご覧下さい。 <https://ibaraki-kangorenmei.jp/>

〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 TEL: 029-225-3992 FAX: 029-232-8648 E-mail: info@ibaraki-kangorenmei.jp

茨城県看護連盟
ホームページ紹介

随時
更新中!

<https://ibaraki-kangorenmei.jp/>



LINE 登録してね



日本看護連盟

看護師の“知りたい”
 をつなぐ看護職議員の
 活躍がよく分かりますよ！

不要な羽毛ふとんはありませんか？
 東洋羽毛が無料でお引取りします。

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、
 SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。



引取り詳細▶

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外では引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。



東洋羽毛北関東販売株式会社
 310-0842 茨城県水戸市けやき台2-19-2

茨城営業所



0120-46-1590

編 集 後 記

2023年度の茨城県看護連盟総会は4年振りの通常開催となり多くの会員の皆様にご参加いただきました。今回は掲載する内容も多くページ数を増やして二発刊となりました。これからも茨城県看護連盟の活動についてわかりやすく、タイムリーにお伝えできるよう取り組んでまいりたいと思います。

(広報委員)